

地域密着型金融の推進について

平成23年6月



「地域密着型金融の推進について」 <目次>

I. 「地域密着型金融の推進」の基本的な方針	…P 1
<平成22年度の取組みについて>	…P 2
II. 地域密着型金融の重点項目と具体的取組み	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	
①創業・新事業支援	…P 3
②経営改善支援	…P 4
③事業再生支援	…P 5
④事業承継支援	…P 5
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	…P 6
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	
①地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一時的な「面」的再生への取組み	…P 7
～地域密着型金融に向けた具体的取組み～	…P 8
②地域活性化につながる多様なサービスの提供	…P 9
III. 22年度目標項目の達成状況	…P10
<平成23年度の推進方針について>	…P11
IV. 平成23年度の重点項目と具体的取組み	
1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	…P12～13
2. 地域の面的再生への積極的な参画	…P14
3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信	…P14
【具体的な目標について】	…P15

(1) 基本方針

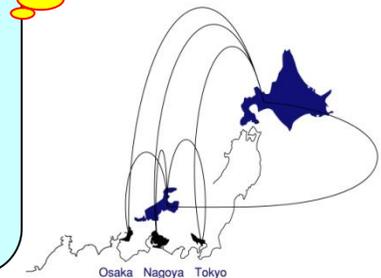
「ほくほくフィナンシャルグループ」は、地域密着型金融の本質である「地域と共に生きる」という高い志のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。

(2) 中期経営計画“Road to 10”における地域密着型金融への取組み

中期経営計画“Road to 10”（2010年4月～2013年3月）について

▶経営の3つの柱「営業力の強化」「経営の効率化」「経営基盤の安定化」を更に進めていくことを基本方針としており、このうち「営業力の強化」のために実践する“トリプルR”（Retail～親しまれる、Relation～頼りにされる、Region～地域密着）の一つとして「地域密着」を掲げております。地域の成長業種支援や、企業誘致、産学官連携の取り組み、CSRへの取り組みなどを通じて、地域金融グループとして一層地域に密着した活動を行ってまいります。さらに、地銀随一の充実した海外ネットワークを活用した海外ビジネス支援による「地域経済の活性化」を目指していくことについても重要な施策として掲げております。また、「経営基盤の安定化」のためには経営理念でもある「地域共栄」の方針のもと、地域社会への貢献を実践してまいります。

当Gの中期経営計画では「地域から親しまれ、頼りにされる金融G」を目指しています。



広域地域金融グループとしてのビジネスモデルの展開には、地域密着型金融の本質を踏まえた継続的な推進が不可欠であり、新たな中期経営計画においても重要な位置付けとしております。

平成22年度の取組みについて

Ⅱ. 地域密着型金融の重点項目と具体的取組み

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

①創業、新事業支援

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携ヒアリングシートの活用により、大学と取引先をマッチングし、新事業の共同研究をサポート ・技術移転支援の一環として、大学の新技術説明会を後援 ・中小企業応援センターを活用し、専門家の派遣を通じ、創業・新事業展開支援等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチャー向け投資ファンド「道銀どさんこファンド」、「札幌元気チャレンジファンド」などを活用した創業、新事業への支援継続実施 ・農商工連携への取組み強化による創業、新事業支援

創業・新事業支援融資の実績（平成22年度）

	内容	実績
北陸銀行	創業・新事業支援に資金用途を限定した制度融資	346件／1,988百万円
北海道銀行	創業・新事業支援に資金用途を限定した制度融資	73件／ 576百万円

北陸銀行の取組み事例



中小企業応援ネットワーク「経営力強化セミナー」の様子（22/9）

■「中小企業応援センター」セミナーの実施

中小企業応援センター事業の実施機関として、当行が代表法人となり「とやま中小企業応援ネットワーク」を設立。

経営課題解決のため、各種テーマでのセミナーを実施しました。

金沢大学
新技術説明会
New Technology Presentation Meetings!

ものづくり・環境・医療機器・ライフサイエンス

大学発のライセンス可能な特許（未公開出願を含む）を発表！
発明者自身が企業関係者を対象に実用化を希望した技術説明を行い、広く実証企業・共同開発パートナーを募ります。

2010年8月6日(金) 13:00~17:10
科学技術振興機構 JSTホール(東京・市ヶ谷)

主催 ▶ 国立大学法人金沢大学、独立行政法人科学技術振興機構
共催 ▶ 有限会社金沢大学ティ・エル・オー
後援 ▶ 株式会社北陸銀行
独立行政法人中小企業基盤整備機構
協力 ▶ 全国イノベーション推進機関ネットワーク

■「新技術説明会」in東京（22/8）

金沢大学の新技術説明会を後援。

首都圏に店舗網を数多く構える当行の特徴を活かし、産学連携の観点から多数の東京地区お取引先の来場を誘致しました。

Ⅱ. 地域密着型金融の重点項目と具体的取組み

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

②経営改善支援

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・各種相談会やセミナーを開催し、経営改善に繋がる情報提供、各種コンサルティングを実施 ▶事業承継・M&Aセミナー（9回、参加累計302名） ▶グローバルセミナー（9回、参加累計318名） ▶ビジパ倶楽部セミナー（6回、参加累計167名） その他、各種セミナーを多数開催 ・海外駐在員事務所の活用、各種レポート発刊によるタイムリーな情報提供を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別企業に対するコンサルティング機能の発揮による総合経営支援、各種セミナー・相談会開催による情報提供 ▶モノづくり関係セミナー（4回、参加累計258名） ▶カイゼン関係セミナー（2回、参加累計225名） ▶中国・ロシア関係セミナー（7回、参加累計1899名） その他、各種セミナーを多数開催 ・行員向け研修実施によるソリューションスキルを強化 ・海外事務所活用などによるタイムリーな情報提供

北海道銀行の取組み事例

■モノづくり支援への取組み

地域経済の活性化のために、北海道の「弱み」とされている第二次産業の育成を支援するため、様々な取組みを実施しています。平成19年より道内4つの高等専門学校と「産学連携協定」を締結しており、道内企業とのリレーションを強化していただくために、モノづくり現場の体験学習などを継続して実施しています。また、道内のモノづくり企業に先進地の取組みを紹介し、人材育成などに活かしていただく様々な取組みについても継続して実施しております。



「第3回モノづくり企業見学ツアー」
～平成22年8月2日～4日



「モノづくり経営者研修会」
～平成22年10月18日～20日（愛知県）

Ⅱ. 地域密着型金融の重点項目と具体的取組み

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

③事業再生支援

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部署である経営改善支援室を中心に、再建計画策定支援、外部機関との連携等により事業再生支援を強化 ・ 企業再生に関する人材育成・ノウハウの伝承、T V・W e b 会議等活用による本支店の連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業支援対象先の他、金融円滑化に基づく貸出条件変更実施先に対する経営相談、経営指導、経営改善計画策定支援 ・ コンサル相談会の開催、事業再生ファンドの活用、中小企業支援協議会との協調

④事業承継支援

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門知識を有する本部P Bチーム、M& Aチームおよび営業店P Bデスクが中心となり、きめ細かな訪問提案活動によるコンサルティングを実施 ・ P Bトレイニーの実施、本部から営業店への各種情報提供による行員のスキルアップを行ない、お取引先への支援を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別企業に対するコンサルティング機能の発揮による事業承継支援、各種セミナー開催による情報提供 ・ プライベートバンキング機能の活用、道銀経営塾による人材育成サポート、M& A支援 ・ 行員向け研修実施による事業承継ソリューションスキルを強化

北海道銀行の取組み事例

■ 平成22年度「道銀・経営塾」

事業の承継にあたって、特に重要な課題である人材育成と組織強化を支援するための取り組みとして、平成23年度で13期目となる後継者育成のための「経営塾」に加え、平成22年度からは幹部候補育成のための「経営塾（幹部育成コース）」を開講。経営の基本を1年間かけて体系的に学ぶ実践形式のカリキュラムであり、参加された方々からも大変ご好評をいただいております。～写真は22年度幹部塾（現経営塾（幹部育成コース））



Ⅱ. 地域密着型金融の重点項目と具体的取組み

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

①不動産担保、個人保証に依存しない融資の推進

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・流動資産担保融資保証制度の活用、リース会社提携による「営業者担保ローン」「機械担保融資保証制度」を活用した、債権流動化、動産、債権譲渡担保付き融資の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・債権流動化プログラムの活用、売掛債権担保融資への積極的取組み

②企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代に対し、企業評価能力、金融円滑化のための融資管理能力向上に繋がる各種行内研修を実施 ・業種別の業界動向や特徴を学ぶ「業界の達人」講座による専門性の高い人材育成を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手・中堅・役席向け階層研修会実施による人材育成 ・特に若年層に対しては法人融資担当者全員を対象とした研修を実施、実態把握力、融資判断力を強化

北陸銀行の取組み事例

■「業界の達人」養成講座

相談機能の向上を図るべく、業種別専門知識を学ぶ「業界の達人養成講座」を休日余暇セミナーとして開催。お取引先にも講師となっただき、企業の技術力や将来性を的確に評価するポイントの習得に努めました。



お取引先にも講義いただいた「小売業」関連セミナーの様子 (23/1)

● 22年度「業界の達人」開催実績

22/4	農業ビジネスセミナー
22/5	医薬品産業
22/7	機械産業
22/9	建設業
23/1	小売業
23/2	医療

Ⅱ. 地域密着型金融の重点項目と具体的取組み

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

① 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一時的な「面」的再生への取組み

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・当グループの広域店舗網、他行との広域連携、更には海外ネットワークを活用し、顧客僚店貢献運動、ビジネスマッチングの取組みを強化 ・再開発事業への参加、商業テナントへのコミュニティスペースの開設による賑わいの提供等により、市街地活性化に貢献 ・環境格付に基づく融資・私募債の取扱いにより、金融面から企業の環境配慮経営を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの北陸銀行、親密地銀との広域連携、さらにグループを含めた海外ネットワークも活用したビジネスマッチングへの取組み ・北海道の「食」特別商談会や北海道ビジネスフォーラムなど、国内外における各種商談会の開催 ・北海道大学観光学高等研究センターとの提携等、様々な形での観光業への取組み強化 ・各種地域振興施策への積極的な取組み

北陸銀行の取組み事例

■ 「ほくぎんポイント倶楽部サロン」オープン



地元商業施設内にお取引先にご利用いただくパーソナルラウンジを開設、活性化に貢献。(23/3)

■ 中国バイヤーズサミット

中国から招聘した16社の食品バイヤーと、中国進出を考えているお取引先との個別商談会を開催。多くの商談が行われました。(22/10)



北海道銀行の取組み事例

■ 各種商談会の開催



各種商談会においては、商流の川上から川下まで多様なサポートを実施しております。平成22年度には「食」「観光」「農業」など様々なテーマ別の商談会も多数開催いたしました。

「北海道『観光』特別商談会from中国」

北海道観光に関わる出展企業35社、国内エージェント13社、中国エージェント13社が参加し、活発な商談がおこなわれました(22/11)



地域密着型金融に向けた具体的な取組み

～地域とお客さまのために～

北海道銀行

「ビジネスマッチングイン瀋陽2010」

中国遼寧省瀋陽市において、個別商談会と現地企業向けに寒冷地技術、環境、観光、ITをテーマとした北海道経済フォーラムを開催いたしました。



個別商談会の様子 (22/8)

北陸銀行

「地方銀行フードセレクション2010」

食をテーマに、取引先の販路拡大を目的とする商談会を、北海道銀行を含む地銀33行により開催しました。



660社がブースを出店、8,000名を超えるバイヤーが来場し、数多くの商談が行われました (22/11)

北陸銀行

中国オンラインショップ販路拡大セミナー

中国での販路拡大の足がかりとして、6億人超の会員を有する、中国・銀聯のオンラインショッピングモールへの出店に関するセミナーを開催しました。



中国富裕層向けビジネスについて学ぶ参加者 (22/11)

北海道銀行

「中国銀聯公式オンラインショッピングモールを活用した販路拡大セミナー」

道内においては、北陸銀行との共催で札幌、旭川、函館、帯広の4会場で開催。合計176名のご参加をいただきました。



函館会場で開催されたセミナーの様子 (23/2)

Ⅱ. 地域密着型金融の重点項目と具体的取組み

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

②地域活性化につながる多様なサービスの提供

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・行内有資格によるMBA講座、次世代経営者養成講座、インターンシップの開催を通じ、地域を担う若い世代へ金融・経済知識を普及 ・大学への「若手研究者研究助成金制度」の創設などによる研究環境の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成支援事業を中心とした金融経済教育活動、社会貢献・地域振興活動への取組み強化 ・地元大学への講師派遣、インターンシップ、小中学校・高校の職場体験学習の継続実施

北陸銀行の取組み事例

■「エコノミクス甲子園」開催 ■ 小学生向け金融教育

高校生の金融経済教育普及を目指し、NPO法人金融知力普及協会と共同開催。



富山会場、福井会場合わせて51チーム102名の高校生が参加 (22/12)

銀行への就業体験を通じて、地域を担う若い世代へ金融知識を普及。



地元小学生向け銀行探検隊 (22/7)

北海道銀行の取組み事例

■親子で銀行体験 ■ スポーツ振興

親子で銀行について学べる機会を提供。夏休みと冬休みに合わせ開催いたしました。



夏休み 親子で銀行体験 (22/8)

スポーツを通じた地域活性化の一環として22年11月より女子カーリングチームをサポート。



チーム名は「北海道銀行フォルティウス」に決定 (23/4)

Ⅲ. 22年度目標項目の達成状況

北陸銀行

目標項目	22年度目標	22年度実績	達成率
債務者区分ランクアップ件数	70件	93件	132.8%
事業承継提案書作成件数	400件	363件	90.7%
研修受講者数(融資審査関連)	500人	633人	126.6%
「顧客僚店貢献運動」成功事例件数	10,000件	9,325件	93.2%
各種研修講師派遣	150件	153件	102.0%

北海道銀行

目標項目	22年度目標	22年度実績	進捗率
債務者区分ランクアップ件数	45件	54件	120.0%
コンサルティング先数	400社	514社	128.5%
債権流動化、動産、債権譲渡担保融資 (査定額残高)、アグリ・ワイド実績	30,000百万円	25,227百万円	84.0%
研修会受講者数(融資審査関連)	400人	462人	115.5%
ビジネスマッチング成約件数	300件	812件	270.6%

平成23年度
地域密着型金融の推進方針について

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

① 日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・ S S 運動（訪問件数増強運動）の徹底による顧客接点の拡充、関係の向上 ・ ほくぎんビジパ倶楽部、北陸長城会等、会員向け各種情報提供サービスを通じたお取引先の会員組織化、リレーション強化 ・ 幅広い世代への各種行内研修を通じた目利き力の養成、余暇セミナー「業界の達人養成講座」を通じた業種別専門知識の習得等による、実態把握能力の強化 ・ お取引先自身が経営の課題や目標を、自らの確に把握できるような、事業承継支援、経営改善支援等のコンサルティング活動の実施 ・ 「中小企業支援ネットワーク事業」活用による各種専門家の派遣、事業再生支援における再生支援協議会との連携等による、お取引先自身の主体的取組みの促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若年行員、中堅行員・管理職に対する階層別研修会の実施による、融資担当者の実態把握力、融資判断力の向上、渉外力や目ききとしてのセンスの習得による、企業の成長可能性を重視した上での資金供給が可能な人財の育成 ・ 利用者の国際化、事業承継など、幅広いニーズに対応できる人財の育成 ・ 経営改善支援マニュアルの策定等により、支援先への経営相談・指導や経営再建計画の策定支援といったコンサルティング機能を発揮 ・ 財務コンサル相談会の開催、中小企業支援協議会などの外部専門家や機関との連携・協調を強化 ・ 「ほっかいどう長城会」「道銀アグリパートナーズ」「道銀経営塾」などを通じた利用者とのリレーション強化

IV. 平成23年度の重点項目と具体的取組み

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

② 最適なソリューションの提案

③ 顧客企業等との協働によるソリューションの実行及び進捗状況の管理

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援制度資金等を活用した金融面からの創業支援 ・産学連携ヒアリングシートの活用、大学との連携による技術力の事業化支援を通じた新事業の発掘・育成 ・当行グループの広域店舗網、業務提携行とのネットワークを活用した、顧客僚店貢献運動、ビジネスマッチングへの取り組み強化 ・海外駐在員事務所、業務協力協定を締結している海外金融機関等を活用した海外進出支援の強化 ・本部専担部署である経営改善支援室による個別サポート、本支店の連携（TV・Web会議活用）による経営改善支援の強化。中小企業再生支援協議会との連携、DES、DDS、RCCスキーム等を活用した事業再生支援の実施 ・本部PBチーム、M&Aチーム、営業店PBデスクが主体となった、コンサルティング機能を備えた事業承継支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチャー向け投資ファンド「道銀どさんこファンド」、「札幌元気チャレンジファンド」などを活用した創業、新事業への支援継続 ・個別企業に対する総合経営改善支援強化に向けたサービスメニューの拡充 ・各種セミナー、個別相談会、または海外事務所の活用、貿易保険の取次業務開始などによる利用者のニーズに合わせた情報提供、コンサルティングの実施 ・中国、ロシアとの取引企業、進出企業への支援スキーム拡充 ・テーマを絞り込んだ各種商談会の開催など、商流の川上から川下までをサポートするビジネスマッチングの実施 ・プライベートバンキング機能の活用、道銀経営塾による人材育成サポート、M&A支援なども含め、地域の利用者に適した事業承継支援

IV. 平成23年度の重点項目と具体的取組み

2. 地域の面的再生への積極的な参画

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・「てるてる亭」や「ほくぎんポイント倶楽部サロン」等での各種イベントを通じた賑わい創出による、中心市街地活性化支援 ・地方公共団体や行政機関とタイアップした、地域再生プロジェクト等への積極的な参画 ・寄付講座、次世代経営者養成講座、小中学生向け金融教育への講師派遣等、地域を担う若い世代への各種教育を通じた、長期的視野での地域活性化への貢献 ・環境格付に基づく融資・私募債の取扱いを通じた環境保全活動、アートギャラリーの設置による芸術・文化活動など各種CSR活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「行政機関」「地方公共団体」「経済団体等」「道外企業」「産業技術支援機関」「大学・高等専門学校等教育研究機関」とのネットワークを強化し、地域産業育成支援、地域おこし町おこし支援を実施 ・産学官・金融連携による道内モノづくり産業の高度化支援など地域産業への支援強化 ・「農業」「医療福祉」「観光」「食」など地域の成長分野に対する取組み強化 ・地域振興、スポーツ振興、金融教育、環境保全などCSR活動を通じた地域への貢献、関係強化

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

具体的な取組み【北陸銀行】	具体的な取組み【北海道銀行】
<ul style="list-style-type: none"> ・各種メディアやホームページを通じ、各種取組み事例について、地域や利用者への積極的な情報発信をおこなうとともに、定期的に地域密着型金融の推進内容を公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種メディアやホームページを通じ、各種取組み事例について、地域や利用者への積極的な情報発信をおこなうとともに、定期的に地域密着型金融の推進内容を公表

IV. 平成23年度の重点項目と具体的取組み

【具体的な目標について】

北陸銀行

目標項目	23年度目標
債務者区分ランクアップ件数	70件
事業承継提案書作成件数	400件
研修受講者数(融資審査関連)	500人
各種研修講師派遣	150人

北海道銀行

目標項目	23年度目標
債務者区分ランクアップ件数	40件
コンサルティング関与社数	400社
研修受講者数(融資審査関連)	150人
ビジネスマッチング成約社数	500社